

市政に対する 一般質問

11名の議員が質問

2月定例会の一般質問は、
2月26日及び27日の2日間に
わたり行われました。
質問の要旨は次のとおりです。

山田 裕一
本市の学校教育の方向性について 他

沼倉 昭仁
白石市と白石市土地開発公社の関係について 他

菅野 恭子
新型インフルエンザ対策について 他

大野 栄光
地域振興策について 他

四 竈 英夫
小中学生の「早起き早寝」習慣の定着について

沼倉 啓介
教育現場における現状と深刻な課題について

吉田 貞子
雇用をめぐる状況と対策について

佐久間 儀郎
子どもの読書活動について

志村 新一郎
市の将来のあり方について 他

平間 知一
国保の医療費増加に対応した市と加入者の自己負担の軽減について

水落 孝子
雇用の確保と地域活性化について

本市の学校教育の方向性について

山田 裕一

〔質問〕教育長は、10年以上にわたり、本市の学校教育について尽力されてきた。

少子化が加速し、核家族の増加など生活スタイルの多様化により、子どもたちの生活環境は、楽観視できるものではない。

これまでの議会においても、学校教育や家庭教育について

様々な議論がなされたが、これまでの経験から今後の本市学校教育のあり方について教育長の見解を伺う。

- ◎その他の質問
- ・企業立地推進室の役割について
- ・定額給付金について

学校教育や家庭教育について

〔答弁〕【教育長】少子化、核家族化、共働き、あるいは情報化からくる教育環境の急激な変化が子どもたちの生活に大きな影響を与えていると思う。

物が豊かになり、自分さえよければいいという間違った個人主義の考え方、あるいは地域の地縁関係がだんだん薄れていっているとも感じている。

また、子どもたちの大きな課題として、学習に対して二極化の傾向がある。そして、規範意識、倫理観、社会性の

不足等も指摘されている。そのような中で教育委員会として、学校教育について特に次の2点を大事にしてきた。

- 1 点目は、家庭学習の習慣化を図るように努力しており、学校と家庭が一体となっており、なお一層強く推進していくことである。
- 2 点目は、全国学力調査によってもわかったことだが児童・生徒の確かな学力の向上を図ることが教員に求められており、わかる授業の創造につとめることである。

よって、自由な授業参観・

講師を招聘しての校内授業研修会など、研修を充実させ改善をしていきたい。

